

R-Car Proactive Partner Solution

株式会社 D T S インサイト adviceXross



概要

JTAG ICE adviceシリーズがさらに進化 実機開発のすべてを一台に

JTAG ICEデバッグツール『adviceXross』は、高機能化/多様化する組込み製品市場のソフトウェア開発のニーズに応えるため、ハードウェアとadviceシリーズ用GUIデバッガを再設計し、基本機能を強化することにより応答性能を大幅に向上しました。

さらに、最適なデバッグやテスト効率向上の支援として、ハイパーバイザー対応、テスト自動化機能、大容量のトレースメモリに対応しております。R-Carファミリに対応しています。

主な機能

- 組込みシステムの進化に伴う、デバッグ高速化の向上
デバッガの応答性向上 ・ JTAG通信の高速化 ・ トレースの高速読み込み(ストリーミング機能)
- テスト自動化によるテスト工数削減
Pythonスクリプトと連携、拡張入出力ポートの搭載によりテスト自動化をサポート
- トレース機能、測定機能の解析が複雑なソフトウェア環境、高度なデバッグをサポート
組込みLinux、マルチコアOSに対応したアプリケーションのデバッグ機能
MMUの仮想記憶環境、マルチコアCPUによる並行動作するソフトウェアの動作解析

ブロック図／ダイアグラム

ハードウェア&UI



ターゲット市場及び用途

- 車載
- 産業オートメーション
- 産業用カメラ
- ヒューマンマシンインターフェイスシステム

<https://www.dts-insight.co.jp/product/ice-jtag/advicexross/index.html>

adviceXross機能ご紹介

SoC上で複数のOSが動作するHypervisor環境のデバッグに対応しました。ゲストOSのデバッグ情報を登録することで、単一OSを指定してのデバッグや、複数OSを自動的に切り換えて同時にデバッグできます。



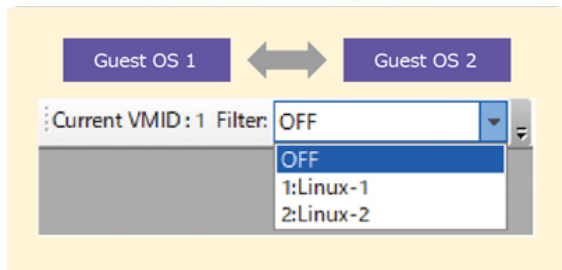
単一OSを選択してデバッグ

登録した仮想マシンIDを指定してデバッグすることが可能です。これにより、指定したゲストOSのみでブレークポイント、ウォッチポイントを設定できます。

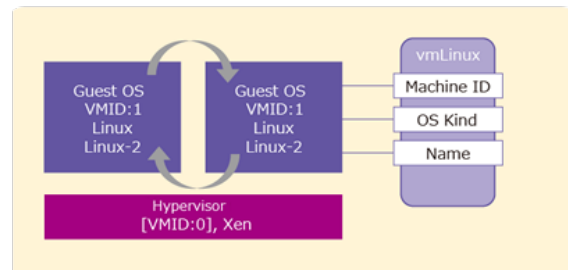
実行中のOSを自動で検出してデバッグ

VMコンテキスト(VM用プロセッサリソース)の検出機能により、OS Awareness、OSシンボル情報の自動切替えてマルチOSをデバッグすることができます。

デバッグ対象のOSを選択可能



仮想マシンIDを自動検出 マルチOSデバッグ



会社概要

当社は、組込み分野のシステム・ソフトウェア開発ツールの製造・販売、システムLSIデザイン設計サービス、ハードウェア・ファームウェア・ソフトウェア受託開発をご提供しています。

これらの製品やサービスは、高い安全性や信頼性が要求される車載分野、医療分野など最先端の開発現場でご利用いただいています。

私たちは、今後さらに発展進化を続けるIoTの世界に向けたサービスを実現するとともに、DTSグループの幅広いサービスでお客様に高付加価値のソリューションを提供してまいります。

関連動画

- JTAG ICE デバッグツール adviceXross

<https://www.dts-insight.co.jp/sp/virtualevent/#jtagice>

お問合せフォーム：

<https://www.dts-insight.co.jp/product/ice-jtag/contact/index.php?m=Mail>